

雲の上のまち



た報

けすばら



野越バイパス開通式典

新年のあいさつ〈P2~7〉

野越バイパス開通〈P10~11〉

コミュニティバス変更のお知らせ〈P12~13〉

梶原町地域子育て支援センター
「カンガルーのおなか」ベビーマッサージ体験〈P14〉

etc...

新年号

2022 〈令和4年〉
No.763

●世帯数/1,758 (11月末)
●人口/3,347 (11月末)



謹んで新年のお慶びを申し上げます

本年が皆様にとりまして、輝かしい一年であり、ありがとうございます。令和四年 元旦

梶原町長 吉田 尚人



この度の梶原町長選挙において当選させていただき、2期目を迎えました。「子々孫々に幸せな暮らしをつなぐ理想郷 梶原」を目指し、「世界の課題解決先進地として経済を再生し、自然とともにある心豊かな町民生活を実現する」ことにより、町民の皆さんがそれぞれの生きがいや幸福感を感じながら安心して安全に暮らせる町となるようしっかりと取り組んでまいりますので、よろしくお願ひします。

年末には、念願であった1977号野越バイパスが無事に開通を迎えることができました。そして3月末には、町道佐渡鷹取線の改良に伴う佐渡鷹取トンネルと橋梁の開通が予定されており、仕上げるに向けて取り組んでいたいております。この夢の事業の実現に向けて努力いただいた関係者の皆様から感謝申し上げます。

近年、線状降水帯などによる局地的な豪雨や台風の大化により、全国各地で大きな被害が頻発しています。平成30年の豪雨の際

には、1977号をはじめ四国中の交通が遮断され、改めて防災、危機管理の重要性と命の道の整備の必要性を感じたところです。引き続き安心安全な基盤整備に取り組んでまいります。

それに並行して産業の振興、教育の振興、福祉の充実に取り組み、町民の皆さんが自信と誇りをもつて、心豊かに暮らせる、持続可能な梶原町として子や孫の世代につなげていける町づくりに取り組んでまいります。

産業では、本町の基幹産業である農林水産業、畜産業の振興に取り組みます。伐期を迎えた人工林を有効利用し、素材として、エネルギーとして活用することで収入に結び付けられるよう林業の担い手の確保や育成に取り組んでまいります。

また、これまで取り組んでいただいている園芸作目の野菜栽培を従来通り支援しながら、新たに現在検討中の道の駅を通じて農産物や加工品が町内外の皆さんに利用いただき、収入になるよう少量多

品目な野菜生産や特産品開発に取り組みます。梶原で育てたワイン用のブドウが現在、県内の井上ワイナリーで熟成しています。梶原で育てた牛肉やジビエなどと梶原産のブドウで造ったワインを楽しむにしたいだけになることを楽しんでいきます。

起業支援により、様々なお店や飲食店などが生まれるよう応援します。町の賑わいを取り戻し、町に入ってきたお金がこの町の中であらゆるグルグル回るようになってほしいと考えています。

町にお金が入ってくるために観光産業を育成します。現在、検討委員会や議会の特別委員会で検討、調査いただいております。太郎川公園の再生を進めてまいります。梶原の玄関口としてこの町にお越しいただいたお客さんを温かく迎え、梶原に興味を持っていただく。文化、自然、環境への取組み、エネルギー利用、街並み景観、木造建築等々、多くの皆さんの興味、関心を掻き立て、好奇心を抱いてもらい梶原ファンを増やしていくことに取り組めます。梶原の眠っている宝ものや自分たちが気づいていない価値を見つけ、磨き、発信することで、多くの観光客を呼び込んでいく。この町で人やモノの交流が生まれ、社会も経済もグ

ルグル回ってみんながワクワク暮らせる町づくりを進めていきたいと考えています。

福祉では、高齢者も移動がしやすくするための交通網を整備しています。みんなが気軽に出かけ、出会い集まり、交流することで楽しみや生きがい生まれ、笑顔があふれ健康で過ごす町になるよう取り組めます。健康な暮らしを支える保健・福祉・医療の充実に取り組みます。

教育では、18年間を通じた教育の中で学ぶ楽しさに気づき、夢を描き、夢に向かって努力する、課題を発見し、解決できる。そんな若者が育つてくれるよう梶原高校が魅力を高め、夢を叶える場になつてほしいと考えます。子供や若者が夢をもってチャレンジできる町ゆすはらとなるよう、町民の皆さんと対話し、協働して取り組んでいきたいと考えております。

梶原町役場

- 梶原町長 吉田 尚人
- 副町長 西村 新一
- 外職員一同
- 中越 拓平
- 森田 呂弥
- 監査委員

新年あけましておめでとうございませう

令和四年 元旦



梶原町議会議長 市川 岩 亀



年頭に当たり、梶原町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまあけましておめでとうございませう。令和4年の新春をご健勝でお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろから町議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて私事ですが、昨年5月の臨時会において、議長の要職を務めさせていただくことになりました。町民の皆様にとって、身近で開かれた議会、信頼され品格と存在感のある議会、町民の代表機関としての役割と将来に対して責任の持てる議会に向けて議会基本条例をもとに議会改革に取り組んでいきたいと思っている所存であります。さて昨年度を振り返ってみますと、一昨年に続き新型コロナウイルス感染症の蔓延で、国内では緊急事態宣言やまん延防止等重点措

置が発出されました。最近は感染が治まりつつありますが、新種の変異株が南アフリカを中心に世界各国に広がってきております。今後におかれましても、国が提唱しています新しい生活様式を遵守し、感染予防に万全を期していただきたいと思っております。

7月には東京2020オリンピックが開催されました。感染拡大防止対策のもと、過去に類を見ない大会となりましたが大会に関わる全ての人々の努力により無事行われました。また出場選手からは素晴らしい勇氣と感動を与えてもらい、貴重な大会となりました。本町においても、3人のランナーによる聖火リレーが行われ、脱藩の道を駆け抜け無事次の四万十町へ引き継がれました。

私たち議会は、本町の輝かしい未来に向け、既成概念にとらわれず、町民の皆様の貴重なご意見、お考えをお聞かせいただき、対話を大切にしながら、諸課題に挑戦

してまいります。

今後とも、町民の皆様の付託に応えられるよう、心をひとつに英知を結集して、町政発展に精力的に臨んでまいりますので、変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

大変厳しい時代に、地方はまさに生き残りをかけた正念場を迎えているといっても過言ではありません。議員は町民の皆様の代表であるという認識をこれまで以上に持ち、信頼される議会を目指し、全ての町民の皆様が日々の生活の中で、一筋の光を見出すことができるよう、議会活動・議会運営に努めてまいります。

結びにあたり、私ども議会といたしましても、より豊かな住みよいふるさとづくりを目指し、今後さらなる創意工夫を重ね、町民皆様方のご期待に応えられますよう決意を新たにしておりますので、どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、町民の皆様にとりまして、本年が素晴らしい年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

梶原町議会

議長 市川 岩 亀

副議長 市川 慶 男

議会運営委員会

委員長 中越 計 清

副委員長 下元 秀 俊

委員 森田 呂 弥

委員 西川 豊 正

委員 土釜 清

総務教育厚生常任委員会

委員長 下元 秀 俊

副委員長 森田 呂 弥

委員 土釜 清

委員 中越 計 清

委員 西川 慶 男

産業建設常任委員会

委員長 西川 豊 正

副委員長 中越 計 清

委員 下元 秀 俊

委員 市川 岩 亀

議会広報編集委員会

委員長 土釜 清

副委員長 下元 秀 俊

委員 森田 呂 弥

委員 西川 豊 正

委員 中越 計 清

委員 西川 慶 男

明けましておめでとうございます

皆様には、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

令和四年 元旦

梶原町教育委員会教育長 矢野 準也



旧年中は本町の教育行政にご支援・ご協力賜りまして、厚く感謝を申しあげます。

振り返ると、令和2年1月に国内で初めての新型コロナウイルス感染症が確認され、2月末には突如の全国一斉休校の要請が出されたから、早いものでもうすぐ2年が経過しようとしています。

この間、保育現場・学校現場では新型コロナウイルス感染防止のため、毎日の検温や消毒作業、さらには子どもたちの心のケア等々、誰もが経験したことのない事態の中において、子どもたちの安全を第一に対応を図ってまいりました。

しかしながら、昨年8月には梶原こども園においてクラスターが発生し、長期休園により保護者の皆様をはじめ町民の皆様にご不便とご迷惑をおかけいたしました。心よりお詫び申し上げます。

現在、新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種の効果などから日本国内においては感染者が減少しておりますが、海外での感染者増加や新型変異株の発生なども

あり、今後も気を緩めることなく、基本的な感染対策の徹底を引き続き行なってまいります。

コロナ禍においても、明るい話題もありました。4月には1年延期となっておりました東京2020オリンピック聖火リレーを本町で開催することができ、爽やかに走る抜けるランナーを町民の皆様と一緒に応援し、久しぶりに夢や希望を感じる瞬間となりました。

また、町内の中高生を対象としたイングリッシュキャンプも開催することができました。国内外の大学生や本町出身の大学生と中高生が2泊3日の活動を通して英語を学ぶだけでなく、自分自身の良さへの気づきや自分の理想の未来を描き互いに話し合うなどこれまで経験したことのない刺激を受けながら活動ができ、事後のアンケートからは、「自分の将来や生き方を考えるきっかけになった」という声もありました。

本町のような中山間地域で育つ子どもたちは、中学校卒業まで、同じ仲間や同じ集団の中で生活

し、特に大人が仕掛けなければ、「周り自分を理解してくれている。周りのことも十分知っている。」という環境の中で育ち、自己表現の機会が少なく、自己理解のきっかけも作りにくくなりがちです。今回実施したイングリッシュキャンプや職業体験など様々な活動を実施し、生きる力を身に付け、社会の変化に流されることなく、直面する様々な課題に対して柔軟に対応し、社会人として自立していく事ができるようキャリア教育を推進してまいります。

グローバル化が進む現代社会では様々な文化や価値観を背景とする人たちと、互いに尊重し合いながら、生きていくことが必要であり、そのためには、他者と協働しながら、答えのない課題にも挑戦し、正解がなくとも、互いに納得できる「納得解」を得るための資質や能力が必要と言われており、こうした力をつけるために、新学習指導要領においても、「何を学ぶか」「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」が大切になっており、急激に変化する社会において様々な場面で活用できる知識として身に付けて行く事が求められています。

- 教育長 矢野 準也
- 教育長職務代理 岩本 直也
- 教育委員 西岡 利晃
- 教育委員 川上めぐみ
- 教育委員 樋口 益也

梶原町教育委員会

謹んで新年のお慶びを申し上げます

輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。
本年もよろしくお願い申し上げます。
令和四年 元旦

高幡消防組合榊原消防団 団長 森田 耕一



地域の皆様には、平素より我々消防団、女性消防隊、少年消防クラブそして幼少年消防クラブに暖かいご支援、ご協力をいただきまして、衷心より厚くお礼申し上げます。また、団員・隊員の皆様には火災をはじめ各種の災害から地域の安心・安全を守るため昼夜を問わず献身的にご尽力いただき感謝申し上げます。

昨年も各地で、地震・台風・大雨等による自然災害が後を絶たず、各地で甚大な被害をもたらし、土砂崩れや浸水などの多大な人的物的被害が多く発生しました。本町においても、4月に行方不明者捜索が発生し、翌日、無事発見されました。5月にはゴミ類等が焼けるその他火災が発生しましたが、初期消火により、人的被害も無く、早期に消火することができました。

また、世界各地にまで感染拡大に及んでいる、新型コロナウイルス感染症により、行事等の中止、活動自粛や制限がかけられました。

昨年の消防団及び女性消防隊の活動としましては、2月14日には、恒例の出初式を行う予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、中止となりました。

4月4日には入団式を行い、5名の新入団員とともに、新たに幹部となった隊員に辞令交付を行いました。

4月26日には、高知県消防大会が新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、規模を縮小して、高知県庁正庁ホールで開催されました。榊原消防団が「高知県知事表彰 表彰旗」を、また、団員や団員の配偶者の中から「消防庁長

官表彰永年勤続功労章」1名、「高知県知事消防団員配偶者功労感謝状」4名が受賞された事は誠に喜ばしいことであります。

7月4日には、恒例の榊原消防団・女性消防隊連合演習を開催しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、規模縮小で行いました。

10月29日には、千葉県市原市の千葉県消防学校において開催予定でありました、第28回全国消防操法大会に榊原消防団第5分団が出場予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し、2年続けて中止となり、令和4年10月29日に同場所において開催されることになりました。

救急ボランティア(EVY)の活動においては、1件の出動要請があり、消防団員である1名の隊員が現場へ出動し、活動しました。消防団の装備充実につきましたは、飯母と下折渡の2カ所に40t防火水槽が設置され迅速な消火活動が可能となりました。本年も団員及び女性消防隊一同、

町民の皆様の生命及び財産を災害から守り、安全で安心して暮らせる町づくりのために努めてまいります。なお一層のご支援ご指導をいただきますよう心からお願い申し上げます。どうか、この1年が無火災と無災害でありますと共に町民の皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

高幡消防組合榊原消防団

- 団 長 森田 耕一
- 副 団 長 玉川 義照
- 副 団 長 川上 博史
- 第一分団長 中越 和仁
- 第二分団長 神明 司
- 第三分団長 山本 浩辰
- 第四分団長 高橋 正知
- 第五分団長 中越 修
- 消防主任 川上 聡
- 榊原町女性消防隊 隊長 川上まゆみ
- 副 隊長 西村麻理子
- 書 記 吉田 敬子
- 会 計 西村 恵子

謹んで新年のお慶びを申し上げます

旧年中は組合事業推進につきましてご支援ご協力を賜りましたことに、深く感謝を申し上げます。

令和四年 元旦

梶原町森林組合 代表理事組合長 森山 真二



この一年、新たな変異ウイルスが次々と広がりを見せる中、感染の再拡大への脅威と経済の停滞での内外経済の冷え込みはもとより、私たちの日常そのものにも大きく影響し、過去に経験のない新しい生活様式での感染予防対策が未だ日常生活そのものに変化を与え続けた年でありました。

このような中、国内ではウッドショックが起りました。アメリカでの住宅建築需要が増加したため木材需要が急激に高まり輸入木材が制限され、急激な需要の増加に供給が追い付かず、結果木材価格が上昇した状況となりました。このことにより、森林・林業については木材需要の拡大に伴う原木の増産、さらには経営継続のための補助や金融措置等の施策が打ち出されたところでもあります。

しかしその一方、失った雇用や生産事業の活動、さらには林業の担い手対策についてもいまだ極めて厳しい状況にあり、今後さらに新型変異ウイルスの感染再拡大に

よる経済情勢の悪化が長期化すれば、山村における地域経済の生活基盤をより一層悪化させかねない状況であります。まずはこのような危機的状況を乗り越えることができる「強い森林・林業」を構築しなければなりません。このためにはまだまだ間伐や路網整備等の森林整備を目的とした森の工場等の一連の団地施設が求められます。

こういった状況をふまえて森林組合系統では、森林所有者の経済的利益の向上や、地域社会の活力創造を目指した系統運動を展開し、林業の成長産業化及び資源の循環利用と適切な管理の推進、人材の確保・育成と林業労働安全、国産材利用促進、そして災害に強い森づくり等に向けての行動が急務となっております。

さて、令和3年度の組合事業につきましてもコロナ禍の影響によるウッドショックで木材価格が上昇し、さらに8月から高知県森林組合連合会の傘下で梶原ストックヤードを開設し、これまで取り扱

いができなかった水源林整備事務所(旧公団)分収造林事業の更新伐採業での搬出原木を、共販事業として原木の市場販売を開始しました。またペレット工場への原材料供給も順調に推移をし、さらには加工事業での「顔の見える家づくり」につきましても、ウッドショックでの原木価格が高騰するなか、国内の製品市場価格も追随して上昇し下半期以降、受注生産体制も順調な稼働となり、県内外への製品販売ができました。引き続き自然環境に優しい森林整備の実践や持続可能な林業経営を目指し、FSCブランドによる梶原産材の販路拡大に努めてまいります。

令和4年度においても、町行政の新体制との連携を図り、梶原町の新たな担い手づくりについて、森林組合としても意欲と能力のある経営事業体としての責務を果たし、ゆすはらの森林づくりの一端を担っていく所存であります。

今後におきましても、森林の価値を高め、自然の力と調和した多様性のある森林、日本の中山間地域のモデルとして、理想郷梶原の森林づくりに関わってまいります。

本年度も、引き続き厳しい状況が予想されますが、役員員一致結束して事業を推進してまいります

ので、組合員を始め関係機関の皆様のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。終わりに皆様のご健康とご多幸をお祈りして新年のご挨拶といたします。

梶原町森林組合

- | | |
|---------|--------|
| 代表理事組合長 | 森山 真二 |
| 理 事 | 下村 繁男 |
| 〃 | 山口 敏 |
| 〃 | 竹倉 茂一 |
| 〃 | 上田 和弘 |
| 〃 | 久岡 國雄 |
| 代表 監事 | 中平 俊一 |
| 〃 | 山本 浩辰 |
| 監 事 | 片岡 幸作 |
| 〃 | 外 職員一同 |



本年が皆様にとりまして、輝かしい一年でありますようお祈り申し上げます。

令和四年元旦

梶原町商工会 会長 長山 和幸



明けましておめでとうございます。梶原町内外の皆様には、日頃より商工会並びに商工振興協同組合の活動に、ご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

我が国の経済が後退局面にある中で、地域需要の大幅縮小に拍車がかかり、地域の中小・小規模企業の経営環境は著しく悪化しています。

我が国経済は、海外の景気回復を背景として、輸出の増加や設備投資の再開など一部で持ち直しの動きがみられるものの、度重なる緊急事態宣言の発出に伴う活動制限、外出自粛により個人消費の停滞が続いており、未だ新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けています。とりわけ地方経済の影響は深刻であり、中山間地域の

本町においても、多くの事業者が、売上減、経費増、資金繰りに苦慮するなど、中小企業・小規模事業者は大変厳しい経営環境に置かれています。また昨年もほとんどのイベントが中止になり、三密を避けることから人との集まりも自粛したり、本町の元気が失われた事も大きな課題となっています。

商工会は、中小企業・小規模事業者の最も身近な相談窓口とし

て、政府・県・町が講じた各種のコロナ支援策の普及・推進に総力を上げて取り組んでまいりました。地域を支える経済団体としての存在価値は高まっており、地域の

会員の皆様に必要な存在として益々努力をしております。我々商工会は、皆様方と知恵をしぼりながら、体制を強化し伴走型支援を継続しつつこの大変厳しい時期を乗り越えて行きたいと考えております。また、このような時代だからこそ、今一度、商工会の役割、その存在意義の原点に立ちかえり、会員の皆様はもちろんです、梶原町に必要な商工会となれるよう行動してまいります。

本年度は、経営改善普及事業では、県の事業承継・引継ぎ支援センターと連携し「事業承継」の個別相談会の開催等を行い、一方、町の支援もある「創業支援」についても個別に対応しています。また昨年度に引き続き、新型コロナウイルス関連の給付金の申請や融資等のご相談に重点をおくとともに、労働税に関する情報提供も継続して実施します。特に消費税のインボイス制度についても理解を深める対策を講じていきます。

地域総合振興事業では、本町の観光事業拡大のために町、観光協会との連携を深めて、本町の観光事業の在り方、本町に必要な観光施策を議論し、人々がこの地域に住み続けることが出来る町づくり邁進してまいります。

梶原町商工振興協同組合では、現在、主にカルスト会、学校給食、梶原学園の寮の給食事業や、雲の上の施設群、マルシェユスハラの

指定管理事業を行っています。その目的は、地域振興や会員の皆様からの食材供給等ですが、時代と共に変化し、働き手の確保が大きな課題となっています。今、雲の上の施設群では、ネパール、バン格拉デシユから3名の外国人の方に働いてもらっています。その取り組みを進めていくために、新しい組合を須崎市の企業の方々と作りました。国からの認可がおりれば、本町の外国人労働者の窓口として、活動が出来るよう取り組んでまいります。「目的を忘れずに、変化への対応」この言葉が、これからのキーワードではないでしょうか。

雲の上のホテルは解体に伴い、昨年9月に営業を終了しました。建築から27年、私どもが経営を始めて12年、取り壊しは、寂しさがありますが、新しいホテルが梶原の人たちにとって誇りとなり、本町の必要な施設になる事を祈ってやみません。

それに伴い、雲の上の温泉施設の中に、雲の上の市場を新設し、食堂も再開しました。梶原を訪れる人々の癒しになれるよう努力してまいります。また、市場の中に、「雲の上のロールケーキ」等新しい商品開発の取り組みも始めています。本町で暮らしている全ての人々、関わりのある全ての人々が、ひいては世界中が、幸せ多い一年でありますように。

梶原町商工会

- 会長 長山 和幸
- 副会長 山本 浩辰
- 理事 西岡 利晃
- 川上 周一
- 下元 正八
- 西川 陽子
- 近藤 律子
- 中山 博行
- 安井 謙二
- 上川 健一
- 中越 貞幸
- 中越 哲臣
- 新谷 正章
- 戸梶 庄美
- 中村 俊夫
- 千光寺俊和
- 外 職員一同
- 監事



各種団体・機関等 ※順不同

梶原町区長会

会長(四万川区) 空岡 則明
 副会長(初瀬区) 矢野 敬明
 区長(越知面区) 上田 末喜
 (西区) 西村 建雄
 (松原区) 松山 榮喜
 (東区) 氏原 隼雄

梶原町農業委員会

会長 中平 紀善
 会長職務代理 上田 和弘
 委員 谷川 恵美
 中岡 勝寿
 白石さかえ

農地利用最適化推進委員

高橋亀一郎
 岡林 勝
 高橋 正知
 中平 勝也
 川上 厚志

梶原町民生委員・児童委員協議会

会長 西村 正義
 副会長 川上 芳郎
 会計 武正眞智子
 監事 川上 善子
 中岡 勝寿

梶原町選挙管理委員会

委員長 坂本 重男
 委員長職務代理 久保 栄八
 委員 中岡 倫
 森田 悟

高幡消防組合津野山分署

分署長 森野 義博
 副分署長 坂本 雅文
 外消防職員一同

梶原町交通安全町民会議

会長 吉田 尚人
 副会長 市川 岩亀
 理事 長谷部 悟
 山中 照亞
 沖田 純輔
 川上 豊雄
 西森 峰雄
 伊藤 一博
 田所 祐人
 上川 渉
 中越 靖
 河野 純雄
 矢野 敬明
 田辺 美枝

運営委員

川上 寿久
 片岡 志保
 白石さかえ
 山口眞知子
 宮岡 恵
 高橋 正知
 又川 幸子
 久岡 健市
 廣瀬吾紀子
 片岡 志保

交通安全指導員

中越 浩一
 坂本 重男
 二宮 健志

社会福祉法人カルススト会

理事長 中越 平
 理事 空岡 則明
 岡田 量
 熊岡 健
 岩崎 悦子
 掛橋健一郎
 山口 敏
 西村 建雄

梶原町魚族保護会

会長 影浦 賢
 副会長 氏原 昇佐
 委員 村中 秀之
 岡村 聖司
 山中 照亞
 市川 辰壽
 木原 正利
 上川 雄康
 岡林 繁男
 下村 虎光
 松山 光義
 吉村 秀俊
 下元 豊正
 西川 豊正
 中越 緑

梶原町人権擁護委員

代表 川上 寿久
 委員 吉富 文
 委員 中越 靖

梶原町保護司会

会長 志手 功
 委員 西村 義幸
 市川 吉朗
 松山 榮喜
 片岡 幸作
 氏原 昇佐

身体障害者相談員

宮本 友和

知的障害者相談員

高橋 正知

梶原町衛生組織連合会

会長 永橋 信弘
 副会長 西村 寿数
 川上 政志
 中岡 倫
 宮本千恵子
 久岡 俊彦

健康文化の里づくり推進員

12期生会長 武田 寿

梶原町手をつなぐ親の会

会長 高橋 正知

梶原町身体障害者連盟

会長 宮本 友和

梶原町戦没者遺族会

会長 中越 計清
 副会長 下元 秀俊
 会計 西岡 一雄

あゆみの会

会長 藤原 良男

梶原町環境美化推進組合

組合長 島崎 勝男
 副組合長兼会計 川村 善雄
 理事 岡村 聖司
 神明 靖
 若宮 康秀
 中越 譽
 中越 大善
 岡林 勝
 石川 昇
 久岡 喜美
 西岡 利晃
 中越 誠

梶原町廃棄物減量等推進員連絡協議会

会長 西川 陽子
 副会長 上田 知子
 西森由美子
 久保八栄美
 岩本 美奈
 廣瀬 栄子
 河野 純雄
 来米 彩
 玉川太得子
 濱田美岐子
 下元 事美
 若宮 康秀
 中越 早苗
 西岡 利晃
 森山 健二

梶原町広報委員会

委員長 吉富文
副委員長 西村幸美
委員 川上博明
神明靖
アウテンポールト千尊
西村新一

図書館協議会

委員長 上田末喜
副委員長 吉村るみ子
委員 空岡則明
高橋正知
吉富文
西村玉子
岡田圭司
氏次悟
中越吉英
糸井将悟

梶原町読書活動推進委員会

委員長 高橋正知
委員 森山聖子
森脇彩衣
森野咲
白木佐奈
板垣真央
笹木陽香
田尾欣三
加藤和嘉子
宮内大輔
樋口浩代

社会教育委員・公民館運営審議会

委員長 空岡則明
副委員長 大村太郎
委員 森田呂弥
長山和幸

委員

山中照亞
山次悟
志手功
大町祐希
西村正義
坂本重男
山口真知子
中越吉英
宮内大輔
土釜清

梶原町文化財審議会

会長 西村信明
副会長 神明靖
委員 梶原哲哉
土谷善昭
松本州平
松山榮喜

梶原町人権教育研究協議会

会長 氏次悟
副会長 岡田圭司
久米秀人
小笠原理佳

梶原学園校長

氏次悟

梶原高等学校校長

岡田圭司

梶原町津野山神楽保存会

会長 吉田尚人
副会長 掛橋雅彦
神明靖
中越計清
前田稔
矢野富夫
西村新一
矢野準也

梶原町婦人会

会長 山口真知子
副会長 中越郁子
上田知子
中山昭子

梶原町スポーツ推進委員

委員長 西村俊二
副委員長 氏原哲哉
宮本友和
田尾欣三
森野健作
久岡政文
下村秀仁

梶原町体育会

会長 坂本重男

梶原町青少年健全育成市民協議会

会長 志手功
副会長 矢野準也

梶原町青少年育成センター

所長 中越佐由美
専任指導員 志手功

梶原町老人クラブ連合会

会長 山中照亞
副会長 市川辰壽
下元時惠
津野壽正
氏原壽雄
中越順市

梶原町連合青年団

団長 大町祐希
副団長 高橋元氣
中越早紀

梶原町文化協会

会長 大村太郎
副会長 掛橋勝司
梶原将悟
伊藤一博
山本智也

梶原ゲートボール連合会

会長 岩本直也
副会長 志手功
中岡照美

一般社団法人津野山畜産公社

事務局長兼 牧場長 佐竹紀章
センター長・主任 西森勘介

一般社団法人ゆすら雲の上観光協会

会長 吉田尚人
副会長 長山和幸
土釜清
西村新一
山本浩辰
西岡利晃
上田末喜
空岡則明
氏原隼雄
西村建雄
矢野敬明
森山真二
西村義幸
松山榮喜

監事

新谷章男
下村昌彦
高知県高幡食品衛生協会梶原分会 新谷章男
よつば会 中越緑

梶原町エプロン会

会長 戸梶圧美
世話人 掛橋培子

梶原町精神障害者家族会

会長 長山久美子

NPO法人 梶原竹ぼうきの会

理事長 中越計清

NPO法人 絆

理事長 矢野豪佑

シルバー人材センター

会長 上川雄康
副会長 西村正義
理事 中越平
吉富文
吉村るみ子
明神孝洋
樋口益也
高橋正知
下村昌彦

梶原町社会福祉協議会

会長 掛橋勤
副会長 上川雄康
理事 西村正義
中越平
吉富文
吉村るみ子
明神孝洋
樋口益也
高橋正知
下村昌彦

野越バイパス開通



【地域発展に大きな期待】

津野町と栲原町とを結ぶ国道197号「野越バイパス」が全線完成し、12月25日に、盛大に供用開始式典が行われました。

国道197号は、高知県の県都高知市を起点に、須崎市・愛媛県大洲市を経て大分県大分市に至る、供用実延長223kmの主要幹線道路です。

高知県内の区間についてみると、高知市から須崎市までが国道33号及び56号との重用区間があるため、実質的な実供用延長は約52・3kmで、栲原町・津野町地域の産業・経済・観光・広域行政を支える中核的な社会資本であると同時に「緊急輸送道路」としての役割も担っています。

現道区間は2車線になっていますが、野越・神根越の両トンネルについては、路肩部を含め、大型車輻はトンネル内での行き違いが困難な状況でした。また、

冬期には積雪や凍結による大型車の接触事故やスリップによる立ち往生が頻繁に発生し、幹線道路としての機能を十分に果たせない状況となっていました。

本事業は、平成21年度に調査が開始されて以来、トンネルを含む約2km（うち、トンネル796m）について、国道事業として高知県発注により施工いただきました。

1日も早い全線開通に向けて、国土強靱化等の予算も最大限に活用しながら事業推進を図り、総事業費約46億円、事業開始から約13年の事業期間を経て、無事開通を迎えることができました。

バイパス区間の開通により、所要時間で2分程度の短縮が見込まれるだけでなく、既存路線の危険箇所を回避することで、安全な通行が期待されます。さらに、上り坂が連続することから、安全で快適な通行を確保するため、幅3メートル、延長約800メートルの「ゆずり車線」を設けています。

この、野越バイパスの開通が、栲原町・津野町のみならず関係地域のさらなる発展に大きな役割を果たすことでしょう。

事業の概要

事業箇所 自) 高岡郡津野町高野
至) 高岡郡栲原町神在居
事業延長 L=1千965m
道路規格 道路構造令第3種第2級
設計速度 60km/h
標準幅員 全幅W=8.5m
(登坂車線部W=11.5m)
車線数 2車線(3.25m×2)
全体事業費 46億円
事業期間 平成21年度
(工事着手25年度)～

事業の効果

事業延長 L=1千965m
(現道2千600m) 2分短縮
所要時間 (現道4分→バイパス2分)

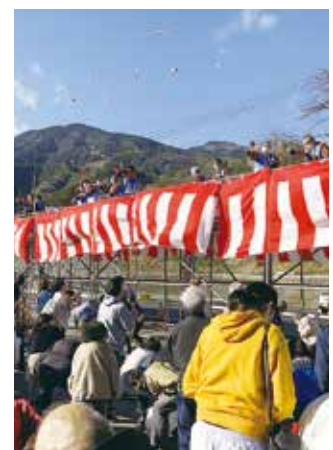


事業の経緯

平成21年度	測量設計(ルート検討、地質調査)
平成22年度	測量設計(道路設計)
平成23年度	測量設計(トンネル設計、用地調査)
平成24年度	用地買収・測量設計(仮設計画)
平成25年度	用地買収・測量設計(水文調査) 工 事(路側工等)
平成26年度	用地買収・測量設計(水文調査) 工 事(路側工、山切工等)
平成27年度	用地買収・測量設計(水文調査、1号橋設計) 工 事(トンネル工、路側工)
平成28年度	用地買収・測量設計(水文調査) 工 事(トンネル工、路側工)
平成29年度	用地買収・測量設計(水文調査、トンネル照明設計) 工 事(トンネル工、路側工)
平成30年度	測量設計(2号橋設計) 工 事(トンネル工、路側工、1号橋下部工)
令和元年度	工 事(路側工、1号橋上部工、2号橋下部工)
令和2年度	工 事(路側工、2号橋上部工等)
令和3年度	工 事(舗装工等)



神事の様子



もちなげ

「盛大に供用開始式典」

当日は、まず津野町高野において交通安全祈願祭及び開通式を行いました。国会議員、国土交通省中村河川国道事務所長、高知県知事、高知県議会副議長、高知県土木部長、国道197号等（維新の道）整備促進期成同盟会である梶原町・津野町・須崎市の町長・市長・議長、梶原町・津野町の地元関係者など約60人が出席して行われました。

その席上、吉田町長は「待望の野越バイパスが、地域住民の思いをのせて高知県に発注いただき、受注されました各事業者様による卓越した技術と工程管理によりまして計画どおり、無事故で供用開始を迎えましたことは、沿線の地域住民にとってこの上ない喜びであり、心から敬意と感謝を申し上げます」と述べました。

その後、高知県農業協同組合津野山営農経済センター輝において、開通記念行事として餅まきが行われました。たくさんのお来場者があり、供用開始を祝福する喜びの声が聞かれ、餅を投げると同時に大きな歓声があ

りました。

祝福の余韻が残る中、津野町高野1号橋付近で開通セレモニーが行われました。主催者や来賓の方によるテープカット及びくす玉開披が行われると会場は華やかな雰囲気になります。その後、高知県須崎土木事務所の先導で野越バイパスの通り初めを行いました。

祝賀会は、ゆすはら・夢・未来館で行われ、鏡割りなどめでたい雰囲気になりました。また、地元のシシ肉を使ったお蕎麦も用意され、梶原の特産料理に舌鼓を打ちながら、苦労話やこれからの地域づくりなど、様々な話に花が咲き、盛会裏に終了しました。



環境整備課



野越バイパス



通り初め

概 念 図





栲原町の新しい移動手段 運行概要を変更します

令和3年10月から、町内の公共交通空白地区解消の取り組みとして、実証運行を行っているコミュニティバスについて利用者からいただいたご意見をもとに令和4年1月から運行概要を変更します。

大きな変更としましては、越知面区において曜日ごとに設定した路線を決まった時間に運行する定期路線運行から、予約運行方式に切り替えます。あらかじめ決められた曜日と時間を設定し、電話予約のうえ田野々までコミュニティバスを利用することができません。

また、すでに予約運行方式で運行していた東区、西区、初瀬区の一部地域において、利用しやすいよう運行回数を増やしました。

四万川区においては、路線やダイヤが一部変更になっています。

この実証運行期間中に、路線ごとの利用状況や、皆さまからいただくご意見やご要望を参考に、本格運行に向けた検討をすすめてまいります。

多くの皆様にご利用いただき、要望や改善点をお寄せください。

【運行主体】

栲原町役場 総務課

【運行事業者】

くるめハイヤー

四万川交通ハイヤー

ゆすはら介護タクシー

路線別運行曜日

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
四万川方面	高階野線	文丸・神の山線	奥井桑線	四万川東線	
越知面方面		おちめん北方面 (永野・井の谷)		おちめん東西方面 (太田戸・横貝・田野々西)	
予約運行	豊原・川井・仲久保方面		東向・上成・松谷方面		太郎川・神在居・仲洞方面

- ※新しい時刻表は、12月10日発送の部落回覧でお知らせしています。
- ※年末年始（12月29日～1月3日）は運休します。
- ※実証運行期間中は運賃無料です。
- ※乗車定員に達している場合は、それ以上のご乗車はできません。
- ※高知高陵交通のバスは通常どおり運行しています。
- ※バス停以外の場所でも、路線内で乗務員に手を挙げてお知らせいただき乗車することができます。
- ※道路の積雪や凍結、天候などの影響により運休する場合があります。

ご利用者の声

火曜日の四万川区 文丸・神の山線を利用して津野直子さん（神の山）にお話を伺いました。

○どのくらい利用していますか？

「火曜日に栲原病院の整形にかかって、リハビリをしているので毎週乗りゆう」

○利用してみようですか？

「家の近くまで上がってきてくれるき、助かる。でも、乗らん便の時に来てもらうのは申し訳ない気がする」

○乗り換えは大変じゃないですか？

「以前から、病院や買い物に出かける時は、家から六丁までタクシーで出て、六丁から高陵交通のバスに乗り換えよったき、乗り換えは全然苦にならん。今はコミュニティバスに無料で乗れるき、高陵のバスに乗り換えても、うっかりお金を払うことを忘れることがある（笑）」



踏み台で乗り降りを補助します

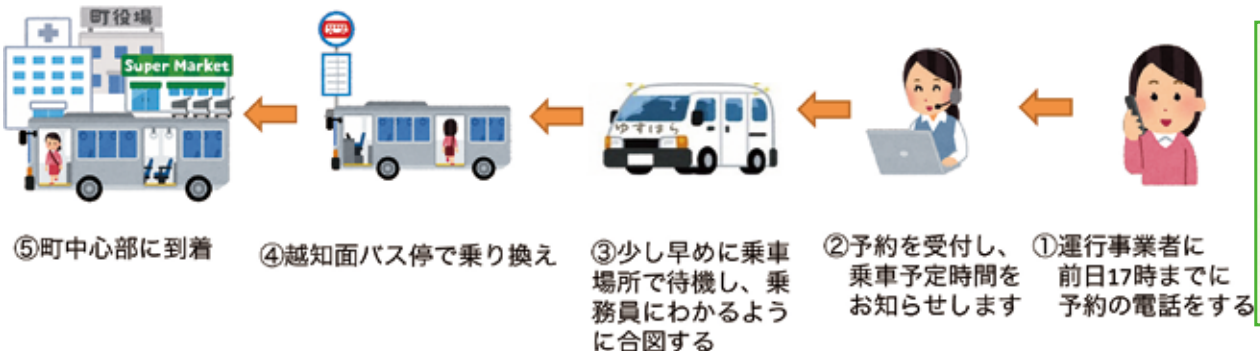
今後もコミュニティバスが移動手段の一つとして皆様にご利用いただけるよう取り組んでいきます。

利用方法

四万川区



越知面区



予約運行対象地域



例えば、こんな使い方

今は、車の運転ができる方も、公共交通に慣れるために、お楽しみのためのお出掛けをしてみませんか。

四万川区では、11月の晴れた日にお友達と連れだって、コミュニティバスに乗り込み、西宮神社に紅葉を見に行かれた方達もいます。

例えば、ランチを兼ねて、お昼にビールを一杯…そんな楽しい使い方にもぜひ、ご利用ください。

広い梶原町…高陵交通のバスとコミュニティバスを乗り継いで、ぶらりと散策してみませんか。



時刻表や乗り方など、ご不明な点は総務課は総務危機管理係までお問い合わせください。

吉田町長初登庁

梶原町長選挙で再選を果たした吉田尚人町長が12月21日(火)、2期目の初登庁をしました。

登庁の際には、町職員や地域の方々から拍手で出迎えられ、花束を受け取りました。

吉田町長は「町民の皆さんの声に耳を傾け、皆さんの幸せな暮らしづくりのため、懸命に取り組んでまいります」と2期目に臨む決意を述べられました。





栲原こども園だより



人権の花

町の人権委員会より「人権の花」をいただきました。幼児組は、自分で土を入れた植木鉢に植えました。かわいい花のお世話をし、身近な植物を通して思いやりの心を育てていきたいと思っています。



チューリップ植え

小学6年生と一緒に年長児が栲原学園でチューリップの球根を植えました。寒い冬の後に、栲原学園に入学する頃、きれいな花を咲かせてくれることと思いま



す。6年生と一緒に植えることで、お兄さんお姉さんに親しみをもち小学生になる生活を楽しみにしています。

乳幼児組参観日

2学期には、乳児組・幼児組と日を分けての参観日を行いました。

乳児組は普段の遊びや生活の様子を見てもらいながら成長の様子を話し、講師を招いて講演会を行いました。

幼児組はクラスで取り組みできたお話し遊び、踊り、合奏などを、クラスごとに保護者の方に見てもらい自

分なりの表現活動を楽しみました。

それぞれに自分の頑張りを認めてもらうことで満足感を味わっていました。

いきいき交流

町内のお年寄りの方と触れ合う機会をもち、地域の方の優しさやいたわりを感じる事ができました。

新型コロナウイルス感染症の為、地域の方と触れ合う行事も少し減りましたが、また来年度もできる範囲で交流をしたいと思っています。



絵本読み聞かせ

絵本の小部屋の皆さんに毎週2回、幼児組、乳児組に読み聞かせをしていただいています。時にはギターを弾きながら歌ってもらったり色々な楽器を見せてもらったり、珍しい音色に耳を傾ける時間もあります。小さな子どもたちも嬉しそうに見たり音楽に合わせて体を動かし「ありがとう」と言ってくわい声でお礼を言っています。お家で読み聞かせも続けて、絵本の好きな子どもたちになってくれるとうれしいです。



一部の記事はホームページでも見ることが出来ます。
<http://www.yusuharakodomo.jp/>



65-1900 **雲の上の図書館だより**
YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL



新年あけましておめでとうございます



本年も雲の上の図書館をよろしくお願いいたします。

新しい年が始まりました。

一昨年から引き続き、世界中でコロナウイルスの脅威に翻弄された昨年。日常生活の様式が大きく変わり、長期に渡り多くの行動が制限されました。それでも様々な工夫により、リモート会議やオンラインイベントなど、インターネット文化が飛躍的に発達した年でもありました。ノーベル物理学賞を受賞した真鍋淑郎さん、米大リーグで活躍を続ける大谷翔平さん、史上最年少で四冠に輝いた将棋の藤井聡太さんなど、明るいニュースに元気付けられることもありました。

コロナウイルスを巡る状況が今後どうなるかは計り知れませんが、どんな時でも雲の上の図書館が皆様の憩いの場所であるよう、本年もスタッフ一同工夫を凝らして参ります。

伝統の美を味わう

『根付の図鑑《動物》 吉祥と愛玩の意匠』

著：吉田ゆかり

江戸時代に大流行した装身具、根付(ねつけ)。細密な小彫刻を施したものが多く、工芸品として優れた根付の中でも、本書では特に動物の意匠を集めて紹介。手触りを覚えるような写真の数々で、江戸の粋を今に伝える。



冬はゆっくり、自分時間

『動物たちの家』

著：奥山淳志

一緒にいるだけで心を豊かにしてくれるパートナーとしての動物たち。ともに暮らした小さな生き物たちへの友情と哀惜。人間が動物を求める感情の源を見つめ、純真な友人達と過ごした日々を綴る、穏やかな短編集。



ご紹介した本が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

2月の休館日
 蔵書整理日
1、8、14~18、22、25日

- 来館時、3つの約束
- ・マスクの着用(2才~)
 - ・手指の消毒
 - ・滞在時間は短めに



〔 今日はお休みしています。 〕
 この冬はリラックス、リラックス。

～計画的な業務運営や休暇の分散化にも資する「年次有給休暇の計画的付与制度」の導入を！～

高知労働局

働き方の新しいスタイル



スマホで簡単！確定申告

スマートフォンで申告可能

- スマートフォンで国税庁ホームページにアクセスすれば、画面の案内に従って入力するだけで申告書が作成できます。
- 作成した申告書はそのまま e-Tax を利用して送信できるほか、印刷して郵送等で税務署に提出することもできます。



国税庁ホームページはこちら

- ※1 e-Tax をご利用になる場合は、マイナンバーカードか ID・パスワードが必要となります。
- ※2 マイナンバーカードを使って e-Tax をする場合は、スマートフォンがマイナンバーカードの読み取りに対応している必要があります。
- ※3 ID・パスワードは、税務署で即日発行します。(申告されるご本人が運転免許証などの本人確認書類をお持ちの上、お近くの税務署にお越しください。)
 なお、ID・パスワード方式は暫定的な対応ですので、お早めにマイナンバーカードの取得をお願いします。

2月の行事予定

9日(水) 人権相談・行政相談

11日(金) 梶原学園1～6年生学習発表会

12日(土) 環境整備デー

13日(日) 梶原消防団・女性消防隊出初式

16日(水) 所得申告受付開始

20日(日) 梶原町交通安全の日

2月の保健福祉課行事予定

1日(火) 西区いきいき(下西の川)

2日(水) 松原サテライト

3日(木) 四万川宅老

4日(金) 初瀬いきいき

7日(月) げらげら家族会

8日(火) 愛育相談・妊婦相談

10日(木) 越知面デイ・東区宅老

17日(木) 四万川宅老

18日(金) 東区いきいき

24日(木) 四万川いきいき

毎 週 月 曜 日 育児サークル(図書館内カンガルーのおなか)午前10時～

※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。

毎 週 水 曜 日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)

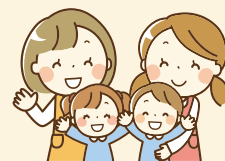
月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。

(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

ゆすっこ相談センター相談日 2日(火)半日、8日(火)半日、15日(火)終日、22日(火)半日

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日) 21日(月)、22日(火)



※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。

※行事予定は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今後変更となる可能性がありますのでご了承ください。

文 芸

烏帽子俳句会

えぼし句会の最後となりて年惜しむ

西村 智子

就活の文字目にとまる冬満月

古野 節子

クリスマスケーキ食ぶ日の注文書

下元 澄子

九十超えセーター赤でまだ元気

ヒネ・バンビ

宿題の一息つきし子に蜜柑

宮崎真由子

ひば 千葉の香にふと牛飼ひし日々のこと

中越 律子

句友ありて過ぎし歲月竜の玉

岩元 芙美

山の端にオリオン見える煤湯かな

温地あゆみ

セロニアス・モンクの起伏寒帛

瀬戸口登貴恵

星あふれ年改まる山の町

千光寺昭子

杉の子俳句会

郷土愛溢れて走る冬の選

影浦 鉄心

去年今年無事に迎えし傘寿かな

氏原 陽子

煌々と空の内側年明ける

掛橋 初子

熱爛や虎太郎ファン龍馬ファン

渡辺 瀑

差別無く自動ドア開く大晦日

川田 早苗

冬景色フルーツサンドの断面図

今城 真人

千年の雅の里や冬夕焼

久岡 智子

ため口のヤンチャ坊主や冬帽子

明神伊佐子

ほっこりと冬至かぼちゃの二人膳

西村 幸枝

候補者の手にグータッチ冬の風

大崎みなと

山茶花や昭和の演歌口ずさむ

下元 廣幸

紅白の南天生けて年新

西村 蓉子

日の光地面きらめく冬木道

内野 純子

つややかな鏡餅なり子の頬っぺ

野中 胤雄

柚子の木俳句会

峠まで落葉踏みふみ一万歩

西村由利子

師走入り選挙カー待つ松葉杖

西森 誠子

一年の計を労う除夜の鐘

中平 忠雄

秋風や子牛は耳と鼻鳴らす

中越 郁子

ひと本の槓の木清し冬木立

渡辺 瑞枝

寒波来る源氏ヶ駄場が白くなる

中越 秋子

老いた父連れて投票霜の朝

吉田 敬子

旨かった？穴の白菜収穫時

広瀬 卓雄

川 柳

又一本 欠けて

オーラル デイスタンス

河野 哲夫

お詫びと訂正

12月号で掲載誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。
4ページの瑞宝単光賞（危険業務従事功労）受賞の記事で、対潜哨戒飛行艇P3・C型機と記載していましたが、正しくは対潜哨戒飛行艇PSI-1でした。
訂正してお詫び申し上げます。



すくすく子育て中



梶原町地域子育て支援センター「カンガルーのおなか」



12月6日(月)、雲の上の図書館にて、安芸郡田野町よりアロマセラピーインストラクター濱渦千里先生をお招きし、ママも赤ちゃんも使えるリップクリーム作りとベビーマッサージを体験しました。

当日は、12組の親子が参加し、濱渦先生のアロマのもたらす効果や日ごろの生活で使えるアロマのお話をお聞きしました。眠たくなって泣き始める赤ちゃんもいましたが、裸になり、

大好きなママの手で曲に合わせてベビーマッサージが始まると、みんなにこにこと気持ちよさそうにしていました。ママたちもとても穏やかな表情でした。

ベビーマッサージで大切なことは、毎日2〜3分でもいいので触れてあげることだそうです。育児の時間は一生に換算するとほんの少しです。これからも、赤ちゃんとの貴重な時間を大切にしたいですね。

梶原町地域子育て支援センター「カンガルーのおなか」は、梶原町立雲の上の図書館内の絵本コーナーで週3日(土・日・月)に支援員が常駐し、育児相談や親子の交流の場として様々なイベントを行っています。月曜日は育児サークルもありますので、気軽に遊びに来てください。

編集後記

お正月の血鉢料理やおせち料理は、色とりどりに華やかで見ても食べても楽しい気持ちにしてくれそうです。しかし、人間とは実に勝手なもので、そうなると思わぬのが質素な食べ物です。七草粥はその年の無病息災を祈る習慣として江戸時代からはじまったそうですが、現代では疲れた胃腸を休める意味で食べられることもあるそうですから、これは生理的な欲求かもしれません。

私はというと、無性に食べたくなるのがお漬物です。お茶漬けにしてパリッと食べれば心の底から落ち着きます。昔は山里の保存食としての役割が大きくとも塩辛いものでしたが、今は味もよく、雲の上の市場やマルシェに並んでいるのを見ると、立派に梶原の食の顔であり続けているようです。

そのお漬物が、法律の改正により何年か後には保健所の許可を受けないと販売できなくなるというニュースを見ました。「いぶりがっこ」で有名な秋田県では大きな問題になっているようです。

たしかに食は人の命を育むものですから衛生管理は大切です。そのうえで受け継がれてきたお漬物文化を絶やさないようにしてほしい。そんなことを思いながら箸を伸ばしています。

(広報編集委員会)

た報 ゆすはら 賀 1月号 No.763

発行所／高知県高岡郡梶原町役場
☎0889-65-1111
URL <http://www.town.yusuhara.kochi.jp/>
発行 兼 編集／梶原町役場 印刷所／南中島出版印刷